

神奈川エリアで総合防災訓練

富士鉱油



グループの防災力高める

富士鉱油(園木章夫社長)は5月17日、神奈川エリア内のグループ会社(富士鉱油横浜支店、京浜石油、マルワイエルピーガス、富士鉱油運輸)合同で総合防災訓練を実施した。

同社横浜支店構内で行われた訓練は、「震度の強い地震発生にともない、隣接する県道から小型トラックが構内タンクヤード付近に落下」「地震の揺れにより配管の一部が損傷し火災発生」との想定で実施。各自が様々な役割を分担できるよ

うに担当班を組み替えて一層のスキルアップをめざしたほか、地元消防署の協力を得て、消火器使用、救命処置、AED(自動体外式除細動器)操作の体験訓練も行った。

園木社長は訓練に先立ち、「当エリアの防災訓練はすっかり定着しており、高い評価を得ている。昭和シェル石油のLPガスプラントHSSSEコンテストでは、昨年度も全国最優秀賞を受賞した。これは日頃の皆さんの地道な努力の賜物であり、全エリア、事業所で

の安全衛生活動を通じ、今後も一層保安の確保にまい進していきたい」と述べた上で、「日々の作業には多数の危険要因が潜在している。また、改善すべきこともまだまだ残っている。安全確保に終わりはなく、また、昨日までの安全、今日の安全は、明日への安全を担保するものではない。安全確保はすべてに優先する」と我が社の理念・考え方を心にしっかりと刻もう」と挨拶した。

当日は総計32人が参加し、情報、消火、車両移

動、避難誘導、監視、救護の6班に分かれ、日頃の鍛錬ぶりを披露。こうした総合防災訓練は、例年どおり他エリアでも順次実施し、グループの「総合防災力」を高めていく予定だ。